

『海国図志』にみえる「四洲志」の原書をめぐって

谷口知子

〇 はじめに

『四洲志』は、1841年に林則徐の名で出版された中国人による最初の翻訳地理書である。同書は世界各国の歴史・地理、特に欧米の近代政治体制や科学技術など新情報を紹介した書であり、当時の中国人が原書に書かれた新概念をどのように理解し翻訳したか、中国における初期の翻訳事情を知る重要な資料といえる。また、『四洲志』を収めた『海国図志』（60巻）は、1854年に日本に舶載され、幕末の日本の知識人に影響を与えた漢籍の一つである。しかし『四洲志』の刊本が現存していない¹。今日、『海国図志』からしか『四洲志』を窺い知れない。それは林則

¹ 『四洲志』の版本について馬西尼 1997(p.25)に“Ebisawa (Christianity in Japan : 2682)指出、日本有一本『四洲志』最初の印本、書中所注日期是 1838 年。”と述べられている。

馬西尼氏指摘の海老沢有道 1960『日本キリスト教文献目録 (“Christianity in Japan”)』(p.94-96)、1838年 2682 に次のような記載がある。

「2682 Bridgman, Elijah Coleman, PN.稗治文(1801-1861)。Shishushi 四洲志 *Ssu-chou-chih* (Geography of the Four Continents), tr. By Rinsokujo 林則徐 *LinTse-hsu*, [n.p.] , 1838(道光 18).cb.50vols. cf. *Kaikoku*, pp.135-139. note: See nos. 2738-2744。」

記載されている 2682 の出版物は、『海国図志』50巻に収蔵されている 1838年出版の Bridgman の《美理哥合省国志略》のことではないだろうか。《四洲志》は 1839年 2月以降に林則徐が原書を購入し、1840年 1月ころから梁進徳ら林則徐の翻訳グループが翻訳を開始、1841年に出版されているからである。また、「cf. *Kaikoku*, pp.135-139」とはどの《海国図志》を指しているのかははっきりしない。

さらに、1842年 2738 文献目録に次のような記載がある。

「2738 Bridgman, Elijah Coleman, PN.稗治文(1801-1861)。Kaikoku-Zushi 海國圖志 *Hai-kuo t'-chih* (Illustrated Geography of Maritime Countries), compiled and revised by GiGen 魏源 *Wei Yuan*, Singapore 堅夏書院, 1843(道光 23). cb. 60 vols. note: Revised edition of the *Shishushi*(n.2682). Three copies were imported in 1850 into Japan, and were prohibited. In 1854, eight copies were sold。」

2738 の出版物も、『海国図志』60巻に収蔵されている、シンガポールの堅夏書院から 1838年に出版された Bridgman の《美理哥合省国志略》のことではないだろうか。また、目録の note によると《四洲志》は「三部が 1850年に輸入され、禁止された。1854年に 8部が売れた」とあるが、この《四洲志》は『海国図志』60巻に収蔵されたものを指していると思われる。日本には『海国図志』50巻は舶載されておらず、1851年に『海国図志』60巻が舶載されたが、禁書扱いになり日本に入っていないことになっている。1854年に再度舶載された際、ペリー来航という状況もあり、日本に正式に入っている。『海国図志』60巻(1843年改訂出版)には《四洲志》・《美理哥合省国志略》が収蔵されて

徐の依頼を受けた魏源は『四洲志』にその他の資料を加え、1842年に『海国図志』(50巻)として出版したからである。従って『四洲志』の原書についても不明な点が多く、1834年にロンドンで出版された *An Encyclopedia of Geography: Comprising A Complete Description Of The Earth* (以後、英国版) と考えられているが、英国版はその後、各国で翻訳出版され、1837年には米国で改訂版 “*The Encyclopaedia of Geography: Comprising A Complete Description Of The Earth*” (以後、米国版) が出版された。

本稿では翻訳書『四洲志』と英国版原書・米国版原書とを考察し、中国における初期翻訳事情を知る重要な基本資料『四洲志』の英文原書は、英国版か、或いは米国版かについて明確にしたいと考える。

なお、本稿は以下の原書及び『四洲志』を底本として使用する。

1. 1834年英国版：Huge Murray 編（中国語名：慕端）1834年 “*An Encyclopedia of Geography: Comprising A Complete Description Of The Earth*” (中国語訳：『世界地理大全』)。London: Printed by A. Spottiswoode, New Street Square; and Vizetelly, Branston & Co. Fleet Street.
2. 1838年米国版：Huge Murray 編：“*The Encyclopedia of Geography: Comprising A Complete Description Of The Earth*” VOL I -III. ; Revised, with Additions, By Thomas G. Bradford。Philadelphia : Carey, Lea, and Blanchard。
3. 1837年米国版：Huge Murray 編 “*The Encyclopedia of Geography: Comprising A Complete Description Of The Earth*” VOL.III. ; Revised, with Additions, By Thomas G. Bradford。Philadelphia : Carey, Lea, and Blanchard, Stereotyped by J. Fagan ……Philadelphia : Printed by C. Sherman and co.。THE NEW YORK PUBLIC LIBRARY デジタル資料。
4. 1839年米国版：Huge Murray 編 “*The Encyclopedia of Geography: Comprising A Complete Description Of The Earth*” VOL.III. ; Revised, with Additions, By Thomas G. Bradford。Philadelphia : Carey, Lea, and Blanchard, Stereotyped by J. Fagan ……Philadelphia : Printed by C. Sherman and co.。THE NEW YORK PUBLIC LIBRARY デジタル資料。
5. 魏源 1842年『四洲志』『海国図志』50巻(巻38大西洋 彌利堅總記下・巻39外大西洋 彌利堅東路) 古微堂活字印本。東方文化学院京都研究所蔵。

1. 先行論文

『四洲志』の原書 *An Encyclopedia of Geography: Comprising A Complete Description Of The Earth* は 1834年ロンドンで出版された後、各国で翻訳、出版された。1837年、*The Encyclopaedia of*

いる。海老沢有道、国際基督教大学アジア文化研究委員会 1960『日本キリスト教文献目録』。東京：国際基督教大学；Arimichi Ebisawa 1960 “Christianity in Japan A Bibliography of Japanese and Chinese Sources” Committee on Asian Cultural Studies International Christian University。馬西尼 1997《現代漢語詞彙的形成》p.25。

Geography: Comprising A Complete Description Of The Earth が米国で改訂出版され、その後米国版は 1838 年、1839 年と毎年のように再版を繰り返した。両書は書名の最初の冠詞が異なり、英国版は “An” であるが、米国版では “The” に改められている。

先行論文は『四洲志』について次のように述べている。

まず、1993 年、陳華氏は《有關《四洲志》得若干問題》(pp.73,74,79) で、『四洲志』は米国版の抄訳であると指摘している²。次のとおりである。

我国学者大都认为译自原著的美国版，这是对的；……从林则徐获得此书的时间看来，可供考虑的版本只有几种。《四洲志》译载不少 1835 年的统计数字和一些声明为 1836 年的情况。……笔者读过原著从 1834 年至 1849 年的几个版本，惜未全睹 1837 年至 1839 年这三个版本，还不敢肯定是 1837、1838 或 1839 年这三个版中的哪一个，只好说可能性较大的是前二者之一。 <中路> 要是梁进德使用的那个原著版本与所见版本的这段原文根本不同，是不可能出現这么多的巧合的。可以绝对肯定，即令梁进德使用的是笔者未见的版本，……。

中国の学者の多くは米国版からの翻訳であると考えており、このことは正しい、……林則徐が原書を入手した時期からみて、考えられる版本は数種類である。《四洲志》は 1835 年の統計値が多く、1836 年の状況の内容が記されている。……著者は 1834 年版から 1849 年版の原書のうち幾つかの版本を読んだが、残念ながら 1837 年版から 1839 年版の三つの版本をすべて見ているわけではなく、1837、1838 或いは 1839 年の版本のどれであるか敢えて断言しないが、前者の二つの版本の可能性がかなり高いというよりほかしかたがない、 <中略> もし、梁进德が使用したその原書の版本が見ている版本のこの段の原文と全く違うならば、このように多くの偶然の一致がでる可能性はないのである。絶対に是認することができる。すなわち、梁进德が使用したものは筆者がまだ見えていない版本であり、……

このように陳氏は述べている。しかし、この論文は、陳氏が何年版の米国版を用いて考察したのかははっきりしない。また、『四洲志』の原書は 1837 年、38 年、39 年のうち何年版の米国版なのかさらに考察する必要があると考える。

次に、1994 年の熊月之著《西学東漸與晚清社会》(p.223) では、

翻译《四洲志》。原书名《世界地理大全》(*The Encyclopaedia of Geography*)，英国幕端著，1834 年伦敦出版，以后又有多种版本。原书厚达一千五百多页，可谓煌煌巨著，《四洲志》是据此书摘译的。

《四洲志》、原書名《世界地理大全》(*The Encyclopaedia of Geography*) は英国人幕端によ

² 陳華 1993<有關《四洲志》得若干問題>、『暨南学报(哲学社会科学)』第 15 卷第 3 期 pp.73-82。

って著され、1834年にロンドンで出版され、その後多くの版本が出版された。原書は千五百頁余りの輝かしい大著であるといえ、《四洲志》は同書をもとに抄訳したものである。

このように、記されている原書名は米国版の書名になっている。だが、総頁数をみると、英国版の総頁数は1,549頁で、通し番号がつけられている。一方、米国版はVol1、Vol2、Vol3の頁数がそれぞれ597、592、607頁であり、総頁数が1,796頁である。すなわち、“原書厚達一千五百多頁”という頁数は英国版とほぼ一致する。このため、熊月之氏はどちらの原書を指しているかはっきりしない。

一方、英国版の書名を明記している研究者は、馬西尼氏1997と蘇精氏2005である。馬西尼著・黄河清訳1997《現代漢語詞彙的形成》(p.25)は、

他第一个向这位钦差大臣介绍 Hugh Murray 的著作 *An Encyclopaedia of Geography*, 此书于1834年伦敦出版。……。

のように、彼(梁進徳を指す。筆者注)は1834年にロンドンで出版された Hugh Murray 著 “*An Encyclopaedia of Geography*” を林則徐に紹介した最初の人物である、と馬西尼氏は述べ、英国版の書名を記している。蘇精著2005《中国・開門!馬禮遜及相關人物研究》(p.229)は、

《四洲志》譯自英人莫瑞(Hugh Murray)的《地理百科全書》(*An Encyclopaedia of Geography*), 一八三四年出版於英國, 一八三七年起在美國連續再版多次。

のように、《四洲志》は英国人莫瑞(Hugh Murray)の《地理百科全書》(*An Encyclopaedia of Geography*)を翻訳したものである。同書は1834年に英国から出版され、1837年米国で連続して何回も再版された、と蘇精氏は述べ、英国版の書名を記している。

このように先学者の記述を見みると、1993年に陳氏は米国版であることを指摘したが、その後の研究者の記述は英国版と米国版とに分かれている。すなわち、中国の研究者の間で、『四洲志』は英国版を用いた抄訳であるか或いは米国版を用いたものかについて明確になっていないのが現状である。

一方、筆者は、『四洲志』と原書の対照研究の結果から判断して、原書は米国版であると考え、筆者は『『海国図志・四洲志』に見られる新概念の翻訳—原書との対照を通して—』にて英国版と『四洲志』とを対照した³。その際、英国版と「四洲志」の抄訳とに異なる個所があるこ

³ 『四洲志』に見られる新概念の翻訳—原書との対照を通して—。2008 北京大学 国際シンポジウム：漢字訳語と漢字文化圏諸言語の近代語彙の形成 2008.3.22

とを確認している。例えば、英国版に書かれてある共和制・連邦制・三権分立が『四洲志』に訳されていないのである。この違いは、原書が米国版である可能性を示すものであるといえる。

以下で『四洲志』の原書は英国版を用いて抄記したものか或いは米国版を用いたものかについて明確にするとともに、もし米国版であるならば、米国版の何年版を使用したかについて検証していきたい。

2. 米国版の「Advertisement to the American Edition」

米国版の「Advertisement to the American Edition (米国版に関するお知らせ) (Philadelphia, October, 1st, 1836)」に、英国版を改定出版した理由および改定の内容が次のようにある。

The object and plan of the Encyclopaedia of Geography have been very fully set forth in the Preface to the English Edition, and the names of the editor and his collaborators are sufficient vouchers for its value. It is due, however, to the American reader, to inform him in what respects these volumes differ from the original. The whole of the English work is here given, with the single exception, that the description of Great Britain, which occupied more than one-third of the Book devoted to Europe, and considerably more than the space given to the whole of America, has been somewhat abridged; but, it is believed, without the omission of any thing of importance.

Encyclopaedia of Geography の目的と計画は英国版の序文に明確に示されている。そして編者と共著者の氏名は英国版の価値を十分に保証する。しかしながら、これら米国版の膨大な内容が原書と異なることに関して、アメリカの読者に伝えなければならない。英国版はただ1つの例外を除いて、すべて改訂版に記述されている。その例外は、ヨーロッパ編の1/3以上を占め、そして全米に与えられたスペースよりかなり多く占める大ブリテン島の記述が、多少簡約化されて書かれていることである。しかし、大ブリテン島の重要な部分は何も省略されていないと確信している。

このように、米国版の編者は、英国版の価値を述べる一方で、多くの紙幅を占める大ブリテン島の記述を簡約化したこと、重要な部分は省略してないことを述べている。筆者は大ブリテン島の「Political Geography (政治地理学)」の内容についてのみ英国版と米国版とを対照した。その結果、米国版では記述の一部及びリストの大部分、約4頁分の紙幅が削除されていた。米国版の編者が述べているように、英国国王の権限、議会、二院制など英国政治制度の重要な部分は削除されていなかった。

以下に、米国版「Advertisement to the American Edition」に記された改定内容を参考に、『四洲志』・米国版・英国版の三冊を対照し、検証していく。なお、対照にあたり、同一の記述或いはほぼ同じ内容と考えられる記述部分は用例に下線を附して示した。

2.1 統計上の数字

2.1.1 合衆国の歳入・税金の統計・統計表

統計上の記述について「Advertisement to the American Edition」に次のようにある。

The text has been carefully revised and corrected throughout, and in most cases more recent statistical details have been substituted for those of the original.

すなわち、本文は慎重に改訂され、最初から終わりまで校正され、そして多くの場合において、最新の詳細な統計が用いられる、と述べている。例えば、合衆国の歳入・税金 (the revenue and taxation of the United States) について、次のような数字が記されている。

・米国版 1837・1838・1839 年版 (VOL3. Part3. Book5. Sect4. — Political Geography p.436L10)

In 1816, the receipts from the customs amounted to 36,306,874 dollars; ……and from 1825 to 1834, the varied from 20,000,000 to 30,000,000; ……

・『四洲志』『海国図志』50 卷 (卷 38 大西洋 彌利堅總記下 12b)

按千八百十六年所征稅餉多至三千六百三十萬有奇……千八百二十五年至千八百三十四年 道光五年至道光十四年 二千萬至三千萬員不等……

・英国版 (VOL3. Part3. Book4. Sect4. — Political Geography p.1339L18)

……in 1816, was 123,000,000 dollars. By the 1st of January, 1824, it was again brought down to 90,000,000……

このように、米国版と『四洲志』の統計には 1834 年までの金額が記され、かつ両書の記述内容は一致している。これに対し、英国版は 1824 年までの情報にとどまる。

さらに、米国版の「Political Geography (政治地理学)」に記されている 1835 年度の各州不動産売買の統計表 (米国版 Part3.p.436-438) は、『四洲志』(11aL7~15bL3) にほぼ同様の内容が記されている。しかし、英国版には 1835 年の統計が記されていないばかりか、そのような統計表はみられない。

2.1.2 州の合衆国への帰属年

各州の合衆国への帰属年は、ミシガン州を例にみると、次のとおりである。

・米国版 1837・1838・1839 年版 (VOL3. Part3. Book5. Sect3. — Historical Geography

p.433L54)

Indiana followed in 1816; Illinois in 1818; and Michigan in 1836; at which time the new Territory of Wisconsin, embracing the country between Lake Michigan and the Missouri, on both sides of the Upper Mississippi, was also constituted.

- ・ 『四洲志』『海国図志』50巻(巻38大西洋 彌利堅總記下 4a)

因底阿那伊里内斯西隅之阿那麻馬同彌斯西北極南近海之佛羅里達緬地馬沙朱碩斯以及彌斯西北東邊各部落米梭里諸部落於千八百十六年至二十年嘉慶一年至二十五年先後歸之千八百三十六年道光十五年阿干薩斯米治顏同時附之

- ・ 英国版 (Part3. Book4. Sect3 p.1337)

On the same grounds was admitted, in 1796, Tennessee; in 1802, Ohio; in 1816, Indiana ; in 1817, Alabama; in 1818, Illinois.

このように、1836年に合衆国に帰属したミシガン州の情報が米国版と『四洲志』には記されているが、英国版には記されていないことがわかる。

これら統計上の数字において『四洲志』と米国版とが一致しているということは、『四洲志』の原書が米国版であることを意味するといえよう。

2.2 州 (state) の記述

「Advertisement to the American Edition」は州 (State) について次のように記している。

The Book relating to America has been enlarged as far as the limits of the work would allow, principally by the addition of local details; …… The Chapter which treats of the United States has been written anew, the original being extremely imperfect and incorrect, as all European treatises on the subject are. …… the creation of new towns, cities, nay, states, is continually making such a change in the face of things, ……

アメリカ編は書物が許されるかぎり増補され、主として地方に関する詳細な記述が追加されている。……アメリカ合衆国を扱う章は新たに書かれている。原文は非常に不完全で不正確であり、テーマに関する全ヨーロッパの専門書のようなものである。……新しい町・市・それどころかむしろ州の建設は物事全体において絶えず変化し、……。

この記述によると、すなわち、アメリカ編は新たに書かれ、特に州に関する内容が増補されていることになる。米国版に追加された州の内容が果たして『四洲志』に訳されているであろう

か。以下に州に関する内容を対照し、検証していく。

2.2.1 州 (state) 憲法

英国版 (Book4. Sect.4 p.1338 -5692) には州憲法に関する記述が全く記されていない。

一方、米国版には以下の内容が追加されている。

- ・米国版 1837・1838・1839 年版 (Vol3 Part3. Book5 .Sect4. — Political Geography p.439L19)

Each of the twenty-six States of the great American confederacy has its local government, organized by the people of the State with such powers and in such manner as they think fit, subject, however, to certain limitations made by the constitution of the United States; thus no State can enter into any treaty or alliance, ……<中略>……。The State governments manage the local and domestic affairs of the members of the Confederacy; they enact the laws which regulate the social and domestic relations of individuals; …

大アメリカ共和制の各 26 州は地方政府を有し、州民がふさわしいと考えるような権力と方法で州民によって組織されるが、アメリカ合衆国憲法によって作られているある制限の支配下にある種の影響を受ける。従って、州は条約や同盟に参加することはできない。… …<中略>……。各州政府は地元と連邦の一員の州内問題を管理する。各州政府は社会的そして個々の州内関係を規定する法律を制定する。

このように、米国版には合衆国憲法の範囲内で州憲法を制定できることが追加されている。では、『四洲志』をみると、

- ・『四洲志』『海国図志』50 卷 (卷 38 大西洋 彌利堅總記下 11aL8)
 …小事各設條例，因地制宜，大事則必遵國中律例… (『海国図志』38 卷 11aL6)
小さな事柄はそれぞれ条例 (筆者注：州憲法) を設け、その土地に適したように定める。しかし、重要な事柄は必ず国の律例 (筆者注：合衆国憲法) に従う。

つまり『四洲志』にも合衆国憲法の範囲内で州憲法が存在することが記されているのである。

すなわち、『四洲志』の州憲法の記述は米国版から抄訳したものであるといえよう。

2.2.2 州政府のしくみ

英国版は各州の州政府のしくみについて記していない。しかし、米国版と『四洲志』には、例えば、バーモンド州とマサチューセッツ州のしくみが次のようにある。

① 洼門部 (バーモンド州)

- ・米国版 1837・1838・1839 年版 (VOL3 p.474 第 5 段落)

The Legislative Houses, the Governor, Lieutenant Governor, ……and Executive Council, are chosen annually by the people. …… Montpelier is the seat of government.

二院制立法府、州知事、副州知事、……州議会は毎年人々によって選出される。……政府の所在地はモントピーリアである。

- ・『四洲志』『海国図志』39 卷 外大西洋 彌利堅東路 8bL3

即帰附於彌利堅以滿比里阿為首區設立總領一副統領一並有立法衙門行法衙門其逐年更易薦舉之法與紐含社同。

アメリカに帰属し、モントピーリアを首区とした。総領一人と副統領一人を置き、立法と行法の役所を設置する。毎年改め推挙する方法はニューハンプシャーと同じである。

② 紐育部 (ニューヨーク)

- ・米国版 1837・1838・1839 年版 (VOL.3 p.491 第 5 段落)

The legislature consists of two houses, the Senate, chosen for the term of four years, and the Assembly, elected annually; the former are chosen by senatorial districts, and the latter by counties. A Governor and Lieutenant Governor are chosen by popular election for the term of two years. The chancellor and superior judges are appointed by the Governor and Senate, and hold their office during good behaviour, or until the age of 60 years; the inferior judges are appointed by the same authorities, for the term of five years. Every white male citizen of the age of 21 years, who has resided in the State for one year next preceding the election, is entitled to vote; but coloured persons must be possessed of a clear freehold of the value of 250 dollars, in order to be qualified electors.

州議会は二院からなり、the Senate (上院) の任期は 4 年間、the Assembly (下院) は毎年選出される。前者は上院議員選挙区によって、後者は counties (郡) によって選出される。州知事と副州知事は 2 年に 1 度州民によって選出される。長官と最高裁判所裁判官は州知事と上院によって任命され、公正な裁判を行うかぎり、または 60 歳まで勤める。それより下の裁判官は同様に任命され、任期は 5 年である。21 歳のすべての白人男性市民で、選挙の前年にはすでにその州に 1 年間居住している者は投票の資格がある。しかし、有色人種が選挙人の資格を持つためには、250 ドルの価値をもつ明確な自由保有地を所有していなければならない。

- ・『四洲志』『海国図志』39 卷 17aL6-17bL3

領小部落二十有四以紐育為首區設立正總領一人副總領一人均由人民公舉其立法之官一曰西業一曰阿新墨里西業四年一易阿新墨里一年一易其審判訟獄者又分大小即由西業選充，如大者果能供職至六十歲始更易，小者五年即更，其推舉必須白人年逾二十居本部，經一年者方能出書薦人否則步得預也……

24の小部落(郡)を有し、ニューヨークを首区とする。正総領一人と副総領一人をおき、全て人民によって推薦される。立法の役所には西業(Senator 上院)と阿新墨里西業(Assembly 下院)がある。西業は4年に一度替わり、阿新墨里は1年に一度替わる。審判訟獄者(the chancellor and judges)はまた大小の分かれ、西業によって選ばれ、60歳になったら交替する。小者は5年で交替する。推薦は、白人は20年以上この州に居住していなくてはならない。1年住んだ者は人を推薦するための書類を提出することができる。そうでなければ参与できない。

このように、米国版に追加された記述と「四州志」の抄訳とはほぼ一致している。このことは、すなわち、『四洲志』は英国版を使用していないということである。

以上、米国版の「Advertisement to the American Edition」に記された改定内容を参考に、『四洲志』・米国版・英国版の三冊を対照し、検証した結果から判断して、『四洲志』の原書は米国版であるといえる。

3. 使用した米国版は何年版か——1837年版、1838年版、1839年版

米国版は英国版を改訂し、1837年に米国フィラデルフィアから出版された後、1838年、1839年と再版を繰り返した。これらの中の何年版が『四洲志』の原書として使用されたのであろうか。

『四洲志』の原書は、林則徐がモリソン教育会の米国人教師サミュエルブラウン=Samuel R. Brown⁴から購入したとされている⁵。サミュエルブラウンは1838年10月17日にモリソン号でアメリカから中国へ向け出航、1839年2月19日にマカオに到着している⁶。この点から判断して、

⁴ Samuel R. Brown、アメリカ長老派。1838年10月17日、モリソン号で中国へ出発。1839年2月19日にマカオに到着、モリソン記念学校長となる。1859年神奈川に到着する。1869年再来日し、1874年新約聖書翻訳委員長になる。この頃ヘボン・ブラウン共訳「馬可伝福音書」「約翰伝福音書」を出版する。『S.R.ブラウン書簡集』幕末明治初期宣教記録(高谷道男編訳1965年。日本基督教団出版)p.369。

⁵ 蘇精2005《中国・開門!馬禮遜及相關人物研究》(p.229)。香港:基督教中國宗教文化研究。

⁶ 衛斐列 譯者顧鈞 江莉2004《衛三畏生平及書信》。広西:広西師範大學出版社(p.56)。吴志良 汤开建 金

国平 主編2009《澳門編年史》第三卷 請中期(1760-1844)。广州:广东出版社(p.1532)。『S.R.ブラウ

「四洲志」の原書は 1837 年版である可能性が大きいといえる。或いは 1838 年版であるといえる。しかし、1839 年版ではないことは確である。

おわり

これまで『四洲志』は英国版の原書を用いた翻訳書か或いは米国版の原書を用いたものかについて、研究者の間で明確になっていなかった。しかし、今回の考察をとおして、まず、米国版 “*The Encyclopaedia of Geography: Comprising A Complete Description Of The Earth*” は、特に米国の部分に訂正と追加が多く施されており、新しい地理書に編集されていることが確認された。これは書名の冠詞が “*The*” に改められている理由かもしれない。さらに、『四洲志』・米国版・英国版との対照により、追加部分が記されている『四洲志』は、米国版の 1837 年版或いは 1838 年版を用いて抄訳された翻訳地理書であることが明らかになった。さらにまた、米国版の 1837、1838、1839 年版は、少なくとも「Political Geography (政治地理学)」において同じ内容であることが確認できた。

米国版原書は膨大な資料が収められた世界地理書であり、総頁数 1723 頁、全三冊で、Part I ~ Part III の三章で構成されている。『四洲志』はその中の Part III の一部を抄訳したにすぎないが、そこには近代国家の新概念が多く書かれており、中国ではアヘン戦争のあいだ欧米の新知識を求める学者や役人に密かに読まれたといわれている⁷。その後、林則徐の依頼を受けた魏源は『四洲志』にその他の資料を加え、1842 年に『海国図志』(50 巻)を出版した。1854 年、『海国図志』(60 巻)が日本に舶載されると、『四洲志』や「美理哥合省国志略」など米国の部分だけがすぐに翻刻出版され、幕末の日本の知識人に大きな影響を与えたのである。

このように、日中に影響を与えた『四洲志』の原書が米国版であることが明確になったことは、今後の『四洲志』や中国における初期の翻訳事情の研究に役立つと考える。

ン書簡集』幕末明治初期宣教記録(高谷道男編訳 1965 年。日本基督教団出版) p.369。

⁷ Suzanne Barnett examines this undertaking by Commissioner Lin in “Protestant Expansion and Chinese Views of the West,” *Modern Asia Studies* (1972), 6(2): 129-149. Michael C. Lazich, 2000 “E.C. Bridgman (1801-1861), America's First Missionary to China” (p.187-88)

